

主催あいさつ

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課課長
安里 賀奈子

みなさんこんにちは。今ご紹介いただきました課の名前が長いので男女課と略してますが、男女課課長の安里と申します。本日は、久しぶりに完全オフラインとありますが、この場で集まる形式で実施ができまして、非常に久しぶりの懐かしい形での開催ができることを喜んでおります。消費者教育フェスタですが今年度は3回実施しています。今日が最終回です。今年度の学びもいろいろと共有させていただいて、しっかり



次の活動に結びつけるような学びや出会いがあるといいなと思っております。この場にお集まりの皆さんには「釈迦に説法」になりますが、現代社会は、消費社会です。消費者が確実に身につけるべき技能は、ひとりひとりの消費者が消費の場面で正しい判断をしていくことだと思えます。成年年齢の引下げもあり、特に若者には、しっかり学んで欲しいと思っている中、どのようにその学び方を効果的に全国各地で推進していくか、我々も知恵を絞っていきたく思います。やはり、知恵は、いろいろな方の話を聞いて、掛け合わせで進んでいく、深めていくものだと思います。今日は、基調講演で平田オリザさんから、対話をキーワードにしたお話を聞きますが、対話がお互いを知って、深めていく基本にあると思えます。その上で事例発表、ワールドカフェ方式でのセッションもごさいます。そうした中でみなさんで学んでいければと思っております。私も本日、最後までしっかり学ばせて頂きたいと思っております。よろしく願います。

もうひとつ、男女課の宣伝をさせてください。この浜松は、「どうする家康」も始まり盛り上がっているところだと思いますが、その中で男女課では、浜松でもう一件盛り上がりたいたことがございます。当課では、障害者の生涯学習の推進という事業も実施しています。学校を卒業した後、障害のある方も学び続ける環境を作っていきたいと思っており、そこにも連携・協働の力が必要だと思っております。実は1月21日、浜松市の福祉交流センターホールで「福祉とアートの現場から 共にいるだけで学びになる」というイベントを開催いたします。こちらは、アーティストの日比野克彦さんと津田英二さんに来ていただきまして、障害者と学びについて、事例の発表なども交えながら実施します。こちら、オンラインの配信もごさいます。チラシをこの会場のポスター展示の横に貼っておきますので、併せてご参照いただければ幸いです。すみません。イベントの宣伝に時間をとってしまいました。教育長の挨拶に移らせていただきます。本日は本当にありがとうございます。よろしく願います。